

## 神経研究の進歩 総目次

1956年～1963年(1巻1号～7巻4号)

- 1巻1号 '56年1月  
神経系疾患の診断法(Ⅰ)
- 1巻2号 '56年4月  
神経系疾患の診断法(Ⅱ)
- 1巻3号 '56年8月  
代謝障害と神経疾患(Ⅰ)
- 1巻4号 '56年12月  
代謝障害と神経疾患(Ⅱ)
- 2巻1号 '57年4月  
脳の生理に関するシンポジウム
- 2巻2号 '57年10月  
脳腫瘍
- 2巻3号 '58年3月  
第1回国際神経科学学会展望(Ⅰ)
- 2巻4号 '58年5月  
第1回国際神経科学学会展望(Ⅱ)
- 3巻1号 '58年10月  
第1回国際神経科学学会展望(Ⅲ)
- 3巻2号 '59年1月  
肝脳疾患(Ⅰ)
- 3巻3号 '59年4月  
肝脳疾患(Ⅱ)・小脳
- 3巻4号 '59年9月  
錐体外路系(Ⅰ)
- 4巻1号 '59年11月  
錐体外路系(Ⅱ)
- 4巻2号 '60年1月  
展望・脊髄血管障害例
- 4巻3号 '60年8月  
神経化学懇話会
- 4巻4号 '60年8月  
興味ある症例の臨床と病理
- 5巻1号 '60年10月  
神経病理懇話会
- 5巻2号 '61年5月  
脳血管性障害(Ⅰ)
- 5巻3号 '61年9月  
脳血管性障害(Ⅱ)
- 5巻4号 '61年12月  
脳血管性障害(Ⅲ)・精神薬理
- 6巻1号 '62年3月  
脳炎・膠質細胞(第2回神経病理懇話会)
- 6巻2号 '62年7月

小児神経病学

- 6巻3号 '62年9月  
第4回神経化学懇話会特集号
- 6巻4号 '62年11月  
神経解剖
- 7巻1号 '63年1月 ¥ 1,400  
脳腫瘍(第3回神経病理懇話会)
- 7巻2号 '63年3月 ¥ 1,200  
神経疫学・診断検査法
- 7巻3号 '63年6月 ¥ 1,400  
脳研究のあゆみ
- 7巻4号 '63年8月 ¥ 1,200  
第5回神経化学懇話会特集号

内容の詳細は7巻2号以前の号の巻末総目次を参照してください。なお6巻4号までは品切れになっています。

1964年(8巻1号～8巻3号)

'64年1月 第8巻 第1号 1,200円

末梢神経(第4回神経病理懇話会)

- 実験的ビタミン欠乏症における末梢  
神経病変……………陳 震 東
- 実験的アレルギー性神経炎(EAN)  
の研究……………松山 春郎・他
- 急性・悪急性多発性神経炎の病理……………松山 春郎・他
- 末梢神経の腫瘍の電子顕微鏡的研究……………太田 邦夫
- 第4回神経病理懇話会抄録および討論

〔原 著〕

- 糖尿病患者の神経系障害に関する研  
究……………高 須 俊 明
- 定位脳手術における頭蓋脳相関と  
Forel-H野を中心とした脳基底核  
群の立体的位置関係に関する研究  
(第1編)……………鈴木 朗 夫
- クロールプロマジンおよびレセルピ  
ン投与のラッテ視床下部下垂体系  
神経分泌に及ぼす影響……………藤 井 英 生

'64年4月 第8巻 第2号 1,200円

奇形性神経疾患

- 水頭症とArnold-Chiari奇形……………佐野 圭司・他
- 頭蓋底陥入症および大孔付辺の骨異  
常……………佐野 圭司・他
- 脳血管性奇形—脳動脈瘤など……………半 田 肇
- 頭蓋狭小児……………堀 浩

発生異常に基づく神経・皮膚症候群…川村太郎  
 先天性脳腫瘍……………鈴木二郎  
 中枢神経系奇形の成立機序と遺伝……村上氏広

#### 〔原著〕

急性慢性リンパ球髄膜脳炎および  
 脳症の病理……………飯塚礼二・他  
 Creutzfeldt-Jakob 病の1剖検例……………松岡竜典・他  
 定位脳手術における頭蓋脳相関と  
 Forel-H野を中心とした脳基底核  
 群の立体的位置関係に関する研究  
 (第2編)……………鈴木朗夫

’64年7月 第8巻 第3号 1,300円

#### 第6回神経化学懇話会特集号

【巻頭言】 台 弘

#### 【シンポジウムⅠ 神経組織化学の新分野】

神経組織の組織化学的研究における  
 二、三の問題……………藤田尚男・他  
 神経伝達物質の代謝に関する組織化  
 学的研究……………清水信夫

#### 【シンポジウムⅡ 神経化学と行動薬理】

慢性覚醒剤中毒の神経化学的研究……台 弘  
 長期アルコール飲用ラットの脳皮質  
 呼吸におよぼすエタノールおよび  
 アセトアルデヒドの影響……………石井厚  
 Hydrazine-2HClにより発現する異  
 なる二つの型の痙攣と脳 GABA  
 増加作用……………斎藤章二・他  
 脳内カテコールアミン代謝と行動変  
 化……………松岡正己・他  
 行動の薬理——とくに方法論的立場  
 から——……………小林龍男・他

#### 【シンポジウムⅢ 脳の脂質】

脳の脂質の研究……………安田守雄  
 脳イノシトールリン脂質代謝とイオ  
 ン輸送の関係……………林浩平・他  
 脳細胞顆粒のリン脂質の研究……………塚田裕三・他  
 外傷脳および梗塞脳における脂質代  
 謝および核酸誘導物質の治療面へ  
 の応用……………荒木千里・他  
 糖脂質研究の進歩……………山川民夫

#### 【Special Lectures】

The Metabolism of Lipids and  
 Lipoprotein in the Central  
 Nervous System ……………J. Folch-Pi  
 Biochemical Aspects of Schizo-  
 phrenia ……………Hudson Hoagland

#### 【一般演題】

神経生長促進因子 Nerve Growth-  
 promoting Factor (NGF) の研  
 究(その1)……………中沢恒幸・他  
 脳アミン酸化酵素に関する二、三の  
 生化学的性質……………井上章・他  
 神経組織内のポリアミンの分布……………清水宏俊・他  
 カテコールアミンと脳の糖質代謝……………柿本泰男・他  
 イオン組成とAChの遊出……………黒川正則・他  
 肝臓酵素の活性調節と視床下部……………嶋津孝  
 脳・肝機能連関に関する実験的研究  
 ——諸種条件下における肝臓及び  
 脳の酵素活性の変動について……………野村純一・他  
 ダイコクネズミ脳の蛋白並びに脂質  
 代謝に及ぼす同化ステロイドの影  
 響……………清水茂松・他  
 アスパラギン酸と脳組織へのカリウ  
 ムのとり込み……………高垣玄吉郎  
 脳の核酸の細胞内分布とその代謝に  
 ついて……………山上栄  
 大脳皮質の核酸の研究……………植村慶一・他  
 脳リボゾームの精製について——そ  
 の物理化学的性質と電子顕微鏡に  
 よる観察……………品川嘉也  
 脳ミクロゾーム及びリボゾームによ  
 るタンパク合成系……………間瀬桂吉  
 脳リントランパの研究(Ⅱ)顆粒結  
 合性の phosphoprotein kinase と  
 リントランパの反応について……………松井英男・他  
 脳の酸性エタノール可溶性タンパク  
 質……………大月三郎・他  
 ポリアクリルアミド・ゲルを支持体  
 とするディスク泳動法による髄液  
 タンパクの分画……………麻上義文・他

#### 【原著】

位相差顕微鏡による上衣細胞の細胞  
 学的研究……………阿部英也  
 ラットの実験的脳腫瘍とその移植腫  
 瘍の病理……………石田陽一・他  
 ネコの脊髄における後根線維の終止……今井義量